

ご存知ですか？《豆本》

手のひらに収まってしまうほど小さな、でもれっきとした本である『豆本』。日本では江戸時代後期に登場したとされていますが、明治以降は、作成にコストがかかるためあって、一部の好事家たちに愛されてきました。

碧南市民図書館では、特別コレクションとして豆本を所蔵しており、今月は2階ギャラリーで、展示を行っています。

複本がある資料は、貸出することもできますので、ぜひこの機会にご覧ください。

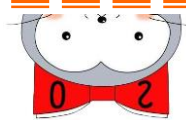


秋の

へきにゃごまつい

10月29日(日)～12月3日(日)

秋の読書月間として、上記の期間中は図書館各館で様々なイベントを開催しています。雑誌付録の抽選会や、お子さん向けのおはなし会や、クイズ、工作教室（要申込）などなど、盛りだくさんです。期間中は、としょかんのキャラクター「へきにゃご」がいつもよりたくさん登場します。ご家族そろって、ぜひ遊びにおいでください！！



休館日

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■ は本館の休館日です

11月のギャラリー

『豆本展』

期 間：11月1日(水)～29日(水)

※ギャラリーの展示は17時までです。

編集後記

今月はギャラリーで豆本を展示しています。私も下手くそながら豆本を手作りしています。和綴りにしてみたり、箱を作ってみたりとなかなか楽しいです。図書館にも関連した図書がありますので、興味のある方はぜひぜひチャレンジしてみてください。(お)

けやきどおり通信 (No.290)

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057
碧南市鶴見町1-70-1
Tel: (0566) 41-0894



けやきどおり通信



2017年11月 ～NO. 290～



は強し!?

「原始、女性は実に太陽であった」とは、思想家であり、作家であり、さらには女性解放運動家でもあった平塚らいてうが、雑誌『青鞥』の発刊にあたって書いた、あまりにも有名な一文です。弱い立場にあった当時の女性たちに向けた力強いメッセージが印象的です。時代は流れ、いまでは沢山の女性たちが社会で活躍しています。けれど女性の強さは一種独特なしたたかさも秘めているもの。今月の特集は、「女の強さ」にスポットをあてた資料をご紹介します。



《働くオンナたち》

『宇宙女子 こうして私は宇宙をシゴトにした』 蒼竜社 (366.2ウ) 暮らし

宇宙に関係するお仕事、といってしまうのはなんですか？プラネタリウムの投影機のエンジニアや、JAXAの開発員、宇宙実験のコーディネータに宇宙ピアニストなどなど、宇宙につながる様々な職種で活躍する女性とその仕事を紹介します。

『現場女子 輝く働き方を手に入れた7つの物語』 遠藤 功/著 日本経済新聞出版社 (366.2ケ)

7つの職場で活躍する8人の女性にスポットを当てた本。航空機整備の現場で、女性初の現場責任者となった「整備女子」。動物園で「流水プール」を実権した「飼育女子」。その他にも「製造女子」「宅配女子」「開発女子」「店長女子」「販売女子」など、男性が主役だと思われていた現場で活躍する女性たちへのインタビューを通じて、どうしたら現場女子を増やすことができるのかを考える1冊。

『土木女子!』 清文社編集部/編 清文社 (510ド)

トンネルや高速道路などの、土木の現場で働く女性たち。厳しい業界であると承知の上で、あえてそこへ飛び込んだ女性たちの姿を写真とインタビューで追う。「どぼじょ」の魅力満載です。

《歴史を彩るオンナたち》

『女のきっぷ 逆境をしなやかに』森まゆみ/著 岩波書店(281オ)

いさぎよくたくましい“きっぷのいい女たち”。明治から平成にかけて信念を持って生きた17人の女性の人生や、心のありかたを探る評伝エッセイ。

『美女たちの日本史』永井路子/著 中央公論新社(281ピ)

多くの歴史小説を手がける著者が、男本位の歴史の見方に異議を唱える。女帝として、国母として、あるいは戦国の世を生き、あるいは物語を綴ることで時代を左右した女たちにスポットを当てて紹介する。

『小説一途 ふたいの『源氏物語』』田辺聖子・瀬戸内寂聴/著 角川学芸出版(913シ)

『源氏物語』に魅せられた著者二人が、『源氏』を紐解き語ること、そして生きることについて存分に語り合う。



『紫式部の欲望』酒井順子/著 集英社(913ム)

平安時代の才女の筆頭にあげられる紫式部。その素顔はどんなものだったのだろうか。『源氏物語』には、式部の欲望がつまっていたのでは？ と考えた著者が「連れさらりたい」「ブスを笑いたい」「プロデュースされたい」など、物語のエピソードをなぞりながら式部の実像に迫る。

『人妻魂』嵐山光三郎/著 マガジンハウス(281ヒ)

漱石や鴎外ら文豪の妻をはじめとした、明治・大正・昭和に生きた個性的な人妻53人が勢ぞろい。とにかく奔放でエネルギッシュな生きざまは、目をみはるばかり。悪いのは男か女かー？ 著者いわく「夫は妻のおもちゃである」だそうです。果たして皆さんはどう捉えますか？

『秘恋』鳥越 碧/著 講談社(Fト)

後世に悪女として伝えられる日野富子。足利八代将軍義政の妻であった彼女の、秘めた恋情とは？ 波乱万丈の人生を描いた歴史小説。

『直虎と直政』岳 真也/著 作品社(Fガ)

戦国時代末期、おんなの身ながら地頭として一族と領土を守ろうとした次郎法師直虎。のちに徳川四天王のひとりに数えられる、その養嗣子である井伊直政。ふたりの虎の数奇な運命をたどる物語。

『マリー・アントワネットの嘘』惣領冬実/著 塚田有那/著 講談社(289.3マ)

ヴェルサイユ宮殿とマリー・アントワネット協会が監修をつとめた漫画、『マリー・アントワネット』。作者である惣領冬実が、虚飾に彩られたアントワネットの真実にいかにしてたどり着いたのか。その制作秘話を語る。

《しなやかなオンナたち》

『乙女の家』朝倉かすみ/著 新潮社(Fア)

内縁関係を貫いた曾祖母、族のヘッドの子どもを高校生で産んだシングルマザーの祖母、普通の家庭を夢見るも、夫と別居中の母。そして17歳の若菜は、自分のキャラを探して迷走中。世代を超えた個性的な女たちが繰り広げる、にぎやかで楽しき家族のあれこれ。



『ガール』奥田英朗/著 講談社(Fオ)(BFオ)

既婚でも独身でも、子どもがいてもいなくても、誰だって焦ってるし、人生の半分はブルー。でもそれだけじゃ終われない。いっちょ真面目に働きますか！ 愛すべき“キャリアガール”たちの姿を生き生きと描いた5つのお話。

『マリコはたいへん！』松久 淳/著 小学館(Fマ)

恋愛、仕事、結婚、別れ…。さまざまなシチュエーションで日夜戦い続ける27人の“マリコさん”。すっとこどっこいで憎めない、チャーミングな彼女たちのストーリー。



『蔵 上下』宮尾登美子/著 毎日新聞社(Fミ)、中央公論社(BFミ)

雪深い新潟の旧家にして蔵元の娘として生まれた烈。父母に見守られ成長した彼女にはしかし、失明という過酷な運命が待っていた。運命に向き合い、ひたむきに生きた烈の姿を描き出す長編小説。

『雷桜』宇江佐真里/著 角川書店(Fウ)(BFウ)

山間の村で生まれた庄屋の一人娘・遊が、雷雨の晩何者かにさらわれた。手がかりが無いまま時は流れ、15年ぶりに家族の前に帰還した遊は、山育ちの狼少女となっていた。遊の兄が仕える将軍家にゆかりある清水家の当主との運命の出会い、そして最後に訪れる切ない結末とは。

《戦うオンナたち》

『七人の敵がいる』加納朋子/著 集英社(Fカ)

ワーキングマザーの陽子は、小学校の初めての保護者会でお母さんたちを敵に回してしまう。それ以外にも敵はあちこちにいるようで…。著者の経験をもとに描かれた頑張る「母」の物語。続編に『我ら荒野の七重奏(セプテット)』があります。

『機長、事件です！』秋吉理香子/著 KADOKAWA(Fア)

クールな女機長・氷室翼と、新米副操縦士・間宮のフライトには、怪しい事件がつかまとう？ 機内で、パリの蚤の市で、修道院でおこる殺人事件を氷室が鮮やかに解決する、短編連作ミステリ。

『海賊女王 上下』皆川博子/著 光文社(Fミ)

16世紀スコットランドに牧童として生まれたアランは、戦士集団に加わりアイルランドへ渡る。そこで出会ったのは海賊を生業とする氏族と、首領の娘である10才のグローニャだった。最後までイングランドに屈さなかった女海賊と、そのその従者を待ち受ける運命とは――。

《シリーズで読む ミステリーのヒロインたち》

『探偵の探偵 (1)』松岡圭祐/著 講談社(BFマ)

『石の繭 警視庁殺人分析班(1)』麻見和史/著 講談社(BFア)

『ON 猟奇犯罪捜査班・藤堂比奈子(1)』内藤 了/著 KADOKAWA(BF十)

『なみだ研究所へようこそ サイコセラピスト探偵波田煌子(1)』鯨統一郎/著 祥伝社(Fク)

『天使はモツを持って「女性清掃人探偵キリコ」シリーズ(1)』近藤史恵/著 実業之日本社(Fコ)

『凍える牙 女刑事音道貴子(1)』乃南アサ/著 新潮社(F/)(BF/)

『推理小説 刑事雪平夏見(1)』秦 建日子/著 河出書房新社(Fハ)

『千里眼 千里眼シリーズ(1)』松岡圭祐/著 小学館(Fマ)角川書店(BFマ)

『ストロベリーナイト 姫川玲子シリーズ(1)』菅田 哲也/著 光文社(Fホ)

